

## 佐渡ジオパーク日本認定10周年記念事業 概要

## ○これからの佐渡ジオパークが目指すもの

- ① 「大地」「生き物」「文化」のある佐渡島（さど）。その魅力をじっくり見つめ、大事にしながら、心豊かに、持続可能な「島づくり」や「人づくり」を進める。
- ② 大地の変動によって佐渡特有の地形が生み出され、その地形を生かした暮らしが歴史となり文化となった。それらを守り続け、佐渡市が取り組むローカルSDGs（地域循環共生圏）を推進する。
- ③ 佐渡島（さど）の3つの宝（ジオパーク、世界文化遺産、世界農業遺産）を大切にし、連携しながら発展していく。

## ○テーマ

「佐渡でめぐる大地と人の物語」

## ○サブテーマ

「学ぼう、遊ぼう、食べよう」

## ○コンセプト

- ① 佐渡の人々は、大地の恵みと生き物の恵みを生活の糧とし、島独自の歴史・文化をつないできた。この大地と生き物と人の暮らしのストーリーを楽しめるのが佐渡ジオパークの魅力であることを、あらためて伝える。
- ② これまでの10年を振り返り、佐渡ジオパークの取組について考える。
- ③ 世界文化遺産、世界農業遺産とともに歩むジオパークの位置づけや関わりを示す。
- ④ 「島全体がジオパーク」であり、大佐渡・小佐渡・国中平野がある佐渡特有の地形や地質を活かして、米や柿等を作り、人々が生活を営んでいる佐渡の魅力を発信する。
- ⑤ ジオパークの取組である「保全（守る）」「普及教育（知る）」「持続可能な開発（つかう）」をもとに、佐渡市で取組むローカルSDGs（地域循環共生圏）、防災等の観点も取り入れる。
- ⑥ 佐渡島の持続可能な地域づくりについて考える。

## ○日程

令和5年7月7日（金）～7月8日（土）

## ○プログラム

- ① エクスカーション（事業部会で検討）
  - ・ ジオパークが包括する世界文化遺産、世界農業遺産を取り入れたツアー
  - ・ 太古の時代、大陸の時代、海の時代、島の時代 4コース
- ② 祝賀会（事業部会で検討）
  - ・ ジオパーク食を基本に、佐渡ならではの食を堪能
  - ・ 地酒（5蔵元のお酒）、佐渡産米、佐渡の郷土料理等
  - ・ 郷土芸能披露

③ 記念式典

- ・開会式
- ・10年の歩み
- ・感謝状贈呈
- ・基調講演・パネルディスカッション（調査・研究部会で検討）
- ・これからの佐渡ジオパークが目指すもの

④ パネラーのミニ講演会（調査・研究部会で検討）

- ・パネルディスカッション等のパネラーの講演

⑤ ジオ科学体験教室（教育部会で検討）

- ・演示実験、体験・ものづくり

⑥ 子どもの学習発表（教育部会で検討）

- ・ポスターセッション、コアタイム

⑦ ガイド意見交換会・交流会

- ・新潟圏域やその他地域のジオパークガイドが集まり、意見交換・交流

○広報・展示（広報部会で検討）

① 佐渡中央文化会館（アミューズメント佐渡）

- ・写真展示、PR活動、グッズ・本販売、映像展示・パンフレット配布・ポスター掲示

② ジオパークセンター、情報コーナー、佐渡博物館、きらりうむ佐渡など

- ・拠点施設での企画展示
- ・佐渡の成り立ち、金銀鉱床、棚田やトキ、10年の年表、岩石・化石、写真展示など

③ 佐渡市内外の日本国内及び国外への周知

- ・日本国内のジオパーク、関係団体への案内
- ・国外へウェブサイトやSNSで情報発信
- ・新潟圏域やその他地域のジオパークガイドへの周知

○各課での取組

① 他課からもジオパーク10周年に絡めた事業を実施してもらい、機運を高める

- ・学校給食にジオパーク食を取り入れてもらう など

○動員予定人数

島内外からの参加人数 延べ350人